

TAKE FREE

KOCCHAKO いわき

いわき暮らしのガイドブック

ここはいわき。
東北のハワイ。

Kocchako (こっちゃこ) = いわきの方言で『こっちにおいで』



WELCOME to IWAKI LIFE!

「こっちゃこ〜」

東北にありながら、
降り注ぐ太陽と美しい海に囲まれた「東北のハワイ」。

「寒い場所」という福島のイメージを覆すような、
穏やかな気候と、旬の食材が溢れる日常がいわきにはあります。

そして、新しい挑戦を「こっちゃこ〜」と優しく迎え入れてくれる、
温かな人々の存在。

都会の喧騒を離れたからこそ見つかる、
本当の意味での「心のゆとり」がここには流れています。

この冊子「こっちゃこいわき」が、
あなたの新しい物語を始める、最初の一步になりますように。



いわきMAP

福島県最大の面積を誇るいわき市は、東京23区の約2倍。
広大なフィールドには、青い海と豊かな山、そして便利な街が共生しています。
どこに住み、どう遊ぶか。この圧倒的なスケールの中に、
あなただけのお気に入りが見つかるはずです。



移住者の声

夏は東京よりずすしい！

東京より夏がずっと涼しくて驚きました。心地よい浜風がすーっと吹き抜けるので、エアコンに頼りすぎることなく快適に過ごせています。

移住者の声

温泉に気軽に入れる！

名湯・いわき湯本温泉はもちろん、あちこちに温泉や鉱泉があるので嬉しいですね。仕事帰りにふらっとお湯に浸かってリフレッシュするのが日課です。



移住者の声

ほどよく都会・ほどよく田舎



市街地には何でも揃っていますが、少し走れば豊かな自然が広がっています。便利さも癒やしもどちらも手に入る、まさに『ちょうどいい』暮らしです。



移住者の声

東北なのに雪があまり降らない

冬は晴れの日が多くてポカポカ。東北＝雪のイメージでしたが、ここは積雪がほとんどないので、大変な雪かきに悩まされることがないのは本当に助かりますね。

移住者の声

車があると便利

車があれば買い物に困ることはありません。渋滞が少ないので移動時間が読みやすいし、重い荷物も玄関まで楽に運べます。実は都会より便利かもと思ってます。



移住者の声

海鮮が美味しい！

港がたくさんあって、毎日水揚げされる魚がとにかく新鮮！美味しい海鮮のお店もたくさんあるので、食べ歩きが移住後の楽しみになりました。



移住者の声

海で遊べるスポットがいっぱい！

4つも海水浴場があって、サーフィンや釣りが気軽の楽しめるのがいいですね。海沿いをサイクリングロードが整備されていて、そこを散歩するだけでも、最高に癒やされますよ。



いわき AREA

▶▶▶▶▶

海、街、山。

エリアごとに全く異なる表情を持ついわき市。潮風が心を解き放つ沿岸部から、利便性の高い市街地、四季を五感で味わう山間部まで、多彩な日常があなたを待っています。あなたの「理想の暮らし」に合わせて選べる、3つのエリアの魅力をご紹介します。

山間部エリア

四季の移ろいを五感で味わう、心豊かな里山暮らし。夜には満天の星空が広がり、伝統文化や名湯が点在するのも魅力です。自慢の畑で野菜を育てたり、静かな環境で趣味に没頭したり。穏やかな時間が流れる、癒やしのエリアです。



市街地エリア

利便性と自然へのアクセスの良さが両立する「ちょうどいい距離感」が魅力のエリア。商業施設や医療機関、教育環境がコンパクトに集まり、生活はとてもスムーズです。都会的な便利さを享受しながら、休日にはすぐに海や山へ遊びに行ける絶妙なバランスが自慢です。



沿岸部エリア

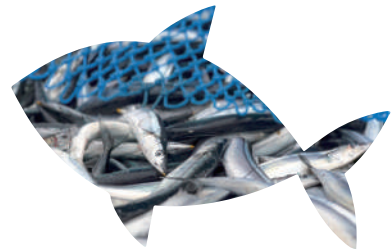
潮風の香りが漂い、ふとした瞬間に視界が開けて青い海が目飛び込んでくる。そんな開放的な景色が、日々の暮らしの心地よいアクセントになるエリアです。朝の海岸散歩で心を整え、地元の新鮮な食材を買い出す。海が存在をすぐそばに感じながら、ゆったりとしたリズムで生活を楽しめます。



食

Gourmet

常磐もの



海と大地の恵み、いわきの「おいしい」日常

サンシャイン
トマト



サンシャイン
いわき梨



いわき市は、豊かな海と広大な大地に恵まれた食の宝庫です。「常磐もの」として名高い鮮魚をはじめ、太陽をいっぱい浴びて育った新鮮な野菜、上質な福島牛が日常的に揃います。地元のスーパーや直売所で、高品質な旬の食材を気軽に購入できるのがいわき流。新鮮だからこそ味わえる本物の美味しさが、暮らしのすぐそばにあります。

自然

Nature

自然がすぐそばにある暮らし

四季折々の表情を見せる豊かな自然が、すぐそばにある暮らし。週末の遠出はもちろん、仕事帰りや散歩道で、ふと心が解けるような景色に出会えるのがいわき市の日常です。



全長60kmの美しい海岸線



多彩な表情を見せる山々と溪谷美



100か所を超える桜の名所

温泉

Hot Spring

身も心もリフレッシュできる
温泉のまち

毎日が温泉旅行のような贅沢を、いわきの日常に。日本三古湯の一つ「いわき湯本温泉」をはじめ、市内各地に個性豊かな温泉・鉱泉施設が点在しています。



スポーツ

Sports

「観る」楽しみも「する」楽しみも

晴天率が高く、冬の積雪がほとんどないいわき市は、一年中スポーツを楽しむのに最適な環境です。「観る」楽しみも「する」楽しみも、この街には溢れています。



サイクリング



いわきFC



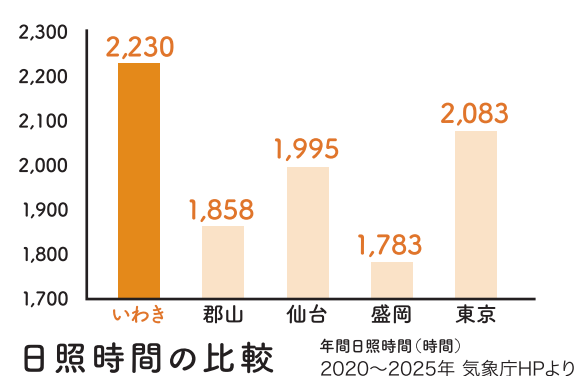
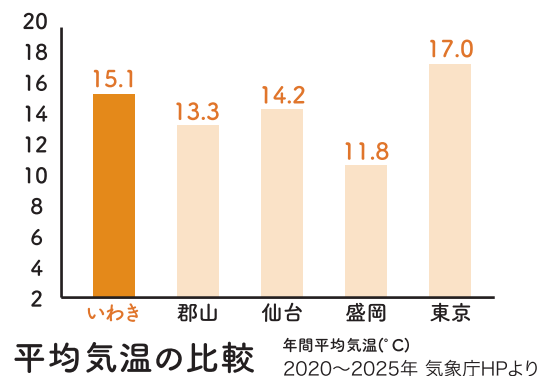
マリンスポーツ

気候

Climate

東北のハワイと呼ばれる温暖で過ごしやすい環境

四季を通じて寒暖差が少ないのが最大の特徴。温暖で積雪もほぼなく、日照時間は東北トップクラス。年間を通して寒暖差が少なく快適に過ごせます。



文化

Culture

絆と情熱が踊る「フラのまち・いわき」
日本フラ文化発祥の地

炭鉱の閉山という困難を乗り越えるために生まれ、街に根付いたフラの文化。その情熱は受け継がれ、いわきの誇り、そして街のアイデンティティとなっています。





福島県いわき市

- ・福島県内最大面積の都市
- ・人口 約31万人（2026年3月現在）
- ・南北約60kmの海岸線
- ・浜通り地域の行政・経済・文化の中心地

生活

Life-line

便利な暮らしを支える充実の買い物環境

地元根付いたスーパー「マルト」をはじめ、大型の「イオンモールいわき小名浜」など、日々の買い物に不自由することはありません。また、多くの直売所や鮮魚店があるのは、食の宝庫・いわきならではの、便利な都会的ライフスタイルで新鮮な地場産品も楽しめる日常を送れます。

スーパー

64 店舗

コンビニ

140 店舗

ドラッグストア

84 店舗

ホームセンター

18 店舗

ショッピングセンター

20 店舗

農産物直売所

31 ヵ所

鮮魚店

45 店舗

※2026年2月時点

医療



高度医療の「最後の砦」として、「いわき市医療センター」が24時間365日の体制で安心を支えます。自治体と医療機関が連携し、健康寿命を延ばす取り組みを積極的に推進しています。

交通



広い面積を誇るいわきは、1世帯の車保有台数が1.5台以上の車社会。福島・仙台の各空港へのアクセスも良く、大阪や北海道などへの出張や旅行も身近に感じられる環境です。

家賃相場

地区ごとの相場（1LDK）

5.5 万円
平地区

5.3 万円
小名浜地区

4.2 万円
常磐地区

3.5 万円
四倉地区

生活費の比較

Family finances

	いわき市	東京23区	差額
収入	395,000円	626,450円	-231,450円
夫の収入	354,700円	521,200円	-166,500円
妻の収入	40,300円	105,250円	-64,950円
支出	348,700円	615,420円	-266,720円
住宅ローン	85,000円	142,800円	-57,800円
食費	72,400円	101,320円	-28,920円
水道・光熱費	20,800円	21,450円	-650円
日用品	18,500円	28,150円	-9,650円
保険医療費	11,200円	15,310円	-4,110円
交通費	39,600円	50,210円	-10,610円
教育娯楽費	18,200円	64,180円	-45,980円
税金	83,000円	192,000円	-109,000円
収支	46,300円	11,030円	35,270円

出典1：総務省「2019年 全国家計構造調査」いわき市・2人以上の勤労者世帯平均
出典2：厚生労働省「令和5年 賃金構造基本統計調査」いわき市の平均年収・所得データより
出典3：総務省「令和5年 家計調査（家計収支編）」東京都区部・2人以上の勤労者世帯平均

東京の**約半分**の家賃で住める！

間取り	いわきの家賃相場	東京の家賃相場
1K～1LDK	3.5～5.5万円	7～10万円
2K～2LDK	3.8～5.9万円	8～13万円
3K～3LDK	4.5～7.5万円	10～15万円

土地付き住宅購入費の相場

東京の**約半分**。
いわきなら庭付き一戸建ても夢じゃない！

東京 **7,314万円**

いわき **3,478万円**

出典：2023年度フラット35利用者調査／SUUMO・アットホーム実売相場データ

住宅面積

東京より**1.7倍**も広い！

東京 **65.9㎡**

いわき **114.3㎡**

出典：令和5年住宅・土地統計調査／いわき市統計書

住まい探し

House hunting

地域の不動産会社に
まずは相談！



地域の不動産会社は地元の物件情報や住環境に精通しているため、ホームページにはない物件を紹介してもらえる可能性もあります。大体の条件が決まったら、まずは相談してみましょう。

空き家バンクを
活用しよう！

空き家バンクいわきでは、市内の空き家を所有者から提供していただき、活用希望者とのマッチングを図っています。価格を抑えたい方、古民家に住みたい方におすすめです。



住まいの補助金を
活用しよう！

住まいに関する様々な支援制度があります。家の購入や改修工事、引越しい費用の補助など、地域で安心して暮らせる環境づくりをしっかりとバックアップしています。



企業に所属する



東北1位の工業都市で、製造業が多い

大手企業の工場、支社も多い

小売店の数も県内2位



フラ・ジョブIWAKI
公式サイト

企業のリアルを見よう！

まずは一步!!

「フラ・ジョブIWAKI」で、企業の“中身”まで見比べてみよう

求人票では分からない、企業の「リアル」が見えるサイトです。先輩社員のインタビューや、残業時間、男女比、福利厚生といった、働く環境の“本当のところ”を数値と声で見える化しています。



農業に関する仕事



温暖な気候と標高差を活かした農業

就農前から就農後まで続くフォロー体制

まずは一步!!

「福島県農業経営・就農支援センター」へ相談しよう

福島県農業経営・就農支援センター TEL 024-521-8676

現役農家さんの声



ファーム白石
白石 長利 さん

江戸時代から代々受け継がれてきた畑の野菜を提供する生産者として、できる限り多くの人とのつながりを大事にしたいと考えています。

生産者と消費者とのつながりを大切に、四季の旬な野菜を食べにいろんな人たちが集まってくる、そんな畑にしていきたいと思っています。

漁業に関する仕事



寒流と暖流が交わる豊かな漁場

漁業未経験でも始められる支援体制

まずは一步!!

「漁業就業相談会」や「漁業体験」の情報は、いわき市漁業協同組合へ

いわき市漁業協同組合 TEL 0246-29-3565

現役漁師さんの声



漁師
門馬 脩二 さん

大学卒業後、一般企業に就職しましたが、研修制度を活用して漁師になりました。魚が獲れた時の喜びが、漁業の魅力だと思っています。是非、いわきで漁業をやいませんか？

地域おこし協力隊に所属する

地域に入り、地域とともに成長できる

豊かな自然と多様な町をフィールドに活動できる



まずは一步!!

いわき市地域振興課に相談しよう！

サイト上で現在の募集状況をチェックしてみましょう。



地域おこし協力隊
長谷川 茜 さん

地域おこし協力隊として、農産物直売所の活性化支援を行っています。いわきの温かい人々と豊かな自然に囲まれ、日々自分らしく活動することができています！みなさんも、私たちと一緒に地域づくりに挑戦しませんか。



いわき市地域振興課

自分で起業する

具体的なサポート体制（相談会等）

未開拓のニーズが見つかる将来性の高い地域市場

まずは一步!!

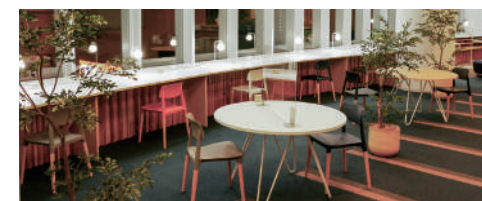
「やりたいこと相談窓口」で伝えよう！



いわき産学官ネットワーク協会（産業創造館）：TEL 0246-21-7570 いわき商工会議所：TEL 0246-25-9151

いわき産業創造館シェアオフィス

個人事業主やスタートアップ期で事業所が必要な方などが利用できるシェアオフィスです。法人登記や郵便受取サービスも可能なほか、インキュベーションマネージャー（専門の支援人材）に起業相談ができます。



データで見る

東京といわきの『働き方』の違い

Q 通勤時間は？
（1日の往復合計・有業者平均）



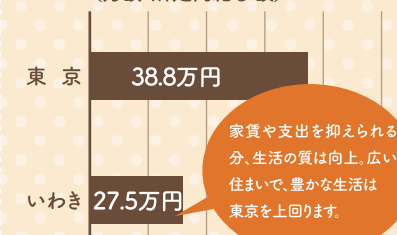
出典：令和3年社会生活基本調査

Q 仕事からの帰宅時間は？



出典：令和3年社会生活基本調査

Q 平均賃金は？
（月額・所定内給与額）



出典：令和5年賃金構造基本統計調査

いわき市の子育て支援

Childcare Support

妊娠から高校生まで
切れ目のないサポートを実施。

医療費・給食、両方の無償化は
中核市ではいわき市を含む7市のみ！

子育て支援の詳しい情報は
「いわきっコナビ」にアクセス!! ▶



妊娠



出産



未就学児



小学生



中学生



高校生

妊産婦健診助成

- 妊婦一般健康診査：15回まで無料
- 産後健康診査：2回まで無料
- 妊婦精密健康診査

妊婦のための支援給付

- 妊婦時：5万円
- 出産後：こどもの人数×5万円

遠方病院への交通費助成

- 体外・顕微授精の交通費
- 妊婦健診の交通費
- 出産のための交通・宿泊費

18歳まで無料！ 安心の「こども医療費助成」

0歳から18歳までのこどもを対象に、保険診療分の自己負担額（処方薬含む）を全額助成しています。所得制限もなく、急な病気やケガにも費用を気にせず受診できる環境は、移住者からも「心強い」と高く評価されています。

児童手当

- 3歳未満：月額15,000円
- 3歳以上：月額15,000円

任意予防接種助成

- おたふくかぜ：4,000円／回
- インフルエンザ：2,000円／回

出産育児一時金

- 50万円

待機児童ゼロ & 充実の保育料無償化

待機児童数は長年「ゼロ」を維持しており、仕事復帰もスムーズ。また、3～5歳児の保育料無償化に加え、副食費の助成や多子世帯への独自支援も充実。こどもの成長を地域で見守る体制を整えています。

新生児聴覚検査助成

- 自動聴性脳幹反応検査：8,500円／回
- 耳音響放射検査：3,000円／回

市立小中学校の 「給食費の完全無償化」

子育て世帯の負担を軽減するため、市立小中学校の給食費を無償化。また、地元の農産物を活用し、地産地消を学ぶ場としての役割も担い、家計にも教育にも心強い制度です。

共働きを応援！ 市内88か所の放課後児童クラブ

放課後の居場所となる児童クラブが市内88ヵ所あり、主に小学校内で運営しています。減免制度もあり、ご家庭のライフスタイルを力強くバックアップします。

ひとり親家庭等応援金

- 10万円／人
- ※児童扶養手当受給世帯に限る
- ※支給時期：中学校卒業年度の3月中

就学支援金

- 公立：9,000円／月（上限）
- 私立：33,000円／月（上限）

奨学給付金

- 生活保護受給世帯
- 公立：32,300円（年額）
- 私立：52,600円（年額）
- 非課税世帯（全日制など）
- 公立：143,700円（年額）
- 私立：152,000円（年額）

経済支援

相談支援

プレママ・プレパパクラス

育児体験や栄養講話など、赤ちゃんを安心して迎える準備ができます。

不妊・不育症専門相談

医師やカウンセラーなどの専門職に無料で相談できます。

出産・子育て支援窓口「おやCoCo（おやこ）」

妊娠期から子育て期まで、専任のコンシェルジュが寄り添う総合相談窓口です。出産への不安や育児の悩みなど、一人ひとりの状況に合わせて必要なサービスを提案します。専門スタッフが連携してチームで対応し、ワンストップで支えます。

産後ケア

体調が崩れがちな産後に助産所や医療機関でケアを受けられます。

地域子育て拠点

子育て親子同士の交流などのイベントを実施。子育て支援員が常駐し、気軽に相談もできます。

一人ひとりに寄り添う「総合教育センター」

お子さんの発達や不登校など、子育てに関するあらゆる悩みを相談できる専門機関です。教職経験者のアドバイザーがお話を伺うほか、遊具完備のプレイルームもあり、お子さん連れでも安心して相談することができます。

家庭児童相談

各地区の保健福祉センターで家庭相談員にこどもや家庭の相談ができます。

チャレンジホーム

不登校状態のこどもを対象に、様々な体験を通じて学校への復帰を支援します。

ふくしま21時間子供SOS

ダイヤルSOS



① 街全体が教室。地域で育む、いわきの宝。

地域と学校が手を取り合う「コミュニティ・スクール」

いわき市のあちこちで、学校の枠を超えた「新しい学びの形」が始まっています。それが、保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール（CS）」です。田人、三和、そして小名浜三小・玉川中ブロックといった先行モデルを中心に、子どもたちの日常にワクワクするような変化が生まれています。

CSの最大の魅力は、先生以外の「地域の大人」が教育のパートナーになることです。自然薯栽培や伝統芸能の継承、街の安全を守る活動など、教科書にはない「生きた知恵」を地域の大人から直接学びます。こうした交流を通じて、子どもたちには「自分は地域に必要とされている」という自己有用感が育まれます。多様な大人に認められ、頼りにされる経験は、何物にも代えがたい自信となります。

「学校は地域が支え、地域は学校で活気づく」。この温かな循環の中で育った子どもたちは、やがて地元の良さを深く知り、未来のいわきを支える大きな力へと成長していくでしょう。いわきの未来の種は、今日も地域みんなの手によって、大切に耕されています。



② いわきの未来を「おいしく」作る。



高校生 × 地元スーパー食がっなぐ地域の絆

いわきの街を歩けば、スーパー「マルト」の店頭で、真剣な眼差しで商品を並べる高校生たちの姿に出会うことがあります。これは、地域に根差すマルトと、いわきの明日を担う地元の高校生たちがタグを組んだ、熱い産学連携プロジェクトの一コマです。

この取り組みの参加校は、小名浜海星、磐城農業、磐城桜が丘、平商業の4校。それぞれの学校が持つ「専門性」という武器を活かし、商品開発の最前線に飛び込んでいます。小名浜海星は「海の恵み」を、磐城農業は「農の知恵」を。磐城桜が丘は「瑞々しい感性」を注ぎ込み、平商業は「ビジネスの視点」で地域の魅力をどう届けるかを考え抜きます。

単なる「アイデア出し」に留まらないのが、このプロジェクトの凄みです。生徒たちはプロの指導のもと、原価計算やマーケティング、さらには販売実習までを経験します。自分たちが考案したメニューが形になり、お客様の手に渡り、「おいしいね」という声が届く。そのプロセスすべてが、彼らにとって「社会」や「地域」と深くつながる貴重な一歩となっています。

例えば、アスリートの体を支える弁当や、地元の未利用魚を活用した新しい味覚。そこには、大人が見落としがちな素材の価値を再発見し、新しい価値（付加価値）を与えようとする若き情熱が詰まっています。

彼らが作る一皿は、単なる食事ではありません。それは、いわきの豊かな食文化を次世代へと繋ぐバトンであり、この街で生きていく自信を育む「未来への種まき」でもあります。



Q1

車は持った方がいい？

公共交通機関でも生活できますが、生活圏が広いため、買い物や通勤、子育てには車があると便利です。市内の道路や駐車場は比較的広く、運転もスムーズに行えます。冬は積雪や凍結は少ないものの、スタッドレスタイヤを用意すると安心です。車があれば行動範囲が広がり、暮らしの自由度がぐっと高まります。

Q2

インフラはどうなってるの？

ガスは主にプロパンガスが多く利用されていますが、一部地域では都市ガスも利用可能です。また、下水道未整備の地域では浄化槽を利用するケースがあります。物件ごとに設備や維持費が異なるため、移住前に不動産会社等へ確認しましょう。インターネットの状況なども併せてチェックするのがおすすめです。

Q3

ご近所づきあい・自治会への加入は必要？

各地区に自治会があり、加入すると地域の情報が得られるほか、行事での交流を通じて地域に馴染みやすくなります。ゴミステーションの管理などは自治会主体で行われることが多いため、ライフスタイルに合わせて加入を検討してみましょう。程よい距離感で助け合える関係性は、新生活の心強い支えになります。

Q4

災害の心配はある？

自然災害のリスクはありますが、市ではハザードマップの公開や防災メールによる迅速な情報発信を行っています。お住まいの地域のリスクを事前に把握し、避難経路や備蓄、家族間の連絡手段を確認しておきましょう。日頃から備えておくことで、自然豊かな環境でも落ち着いて生活を楽しむことができます。



ハザードマップ

Q5

休日・夜間でも受診できる病院・診療所はある？

市内には休日・夜間でも受診できる救急病院があり、迅速に対応しています。小児救急の電話相談や受診を迷った際のアプリなど、地域で連携し支え合う仕組みもあります。子育て世代から高齢の方まで、こうした体制を上手に活用すれば、万が一の際も落ち着いて行動できる環境があります。



救急・休日
診療案内

Q6

ゴミ捨てのルールは？

分別は「燃える」「資源」などに分かれ、地区ごとのカレンダーに従って出します。ゴミ分別アプリ「さんあ〜る」を使えば、収集日をスマホで手軽に確認できて便利です。粗大ゴミの戸別収集制度なども整っており、地域のルールを正しく守ることで、毎日のごみ出しもスムーズに行うことができます。



さんあ〜る

Q7

夏や冬は過ごしやすい？

夏は海風の影響で東京より涼しく、熱帯夜が少ないため夜まで快適に過ごせます。年間の日照時間は東北トップクラスです。冬も温暖で雪かきの手間がほとんどなく、積雪による通勤や通学への支障が出にくい点も大きな魅力です。穏やかな気候は身体への負担が少なく、健やかな暮らしを支えてくれます。

Q8

移住の支援制度はある？

いわき市では、移住者向けに様々な支援制度を用意しています。東京圏からの移住者への支援金、子育て世帯の引越費用補助、移住前の現地滞在に対する宿泊費補助などがあります。詳細はいわき移住定住支援センターのホームページをご確認ください。



いわき移住定住
支援センター

人の優しさに救われた

これは転機だと思った

【英行さん】 発端は、息子の不登校でした。毎朝一緒に登校して、僕は教室の後ろでパソコンを開いて仕事をしていたんです。このまま東京で暮らしながら立て直すのは、かなり難しいなと思っていました。

【聡美さん】 その少し前から、多肉植物の塾でいわきに通っていて、いつかこの世界に行けたらいいなとは思っていたんです。そこに息子のことが重なって、「これは転機なのかもしれない」と感じました。

【英行さん】 いわきに決められた大きな理由は、学校が本当に親身だったことです。相談した時、校長先生も教頭先生もすごく理解があって、「ここならいけるかもしれない」と思えました。

【聡美さん】 移住説明会でも、学校でも、



高木英行さん、聡美さん(2024年 移住)

いわきの方で本当に優しいんです。話し方も柔らかくて、教頭先生も親身に相談に乗ってくれて。制度とか条件だけじゃなくて、人のあたたかさに背中を押してもらった感じがありました。最終的には、もう「いわきしかないよね」と思いました。

学校が楽しい場所に

【英行さん】 いわきに来ていちばんの変化は、息子が学校に行けるようになったことです。最初は僕も一緒に行っていたんですけど、2学期からはひとりで行けるようになりました。それだけで、本当に来てよかったと思います。

【聡美さん】 変化のきっかけは、登校初日に虫取りに行ったことだと思います。息子にとって学校は、苦しいことをやる場所だったのに、「こんな楽しいことが学校でできるの？」ってびっくりしたみたいで。広い校庭や大きなプールも全部新鮮で、今は「学校楽しい、僕行けるー」って言うようになりました。

10分で非日常

【聡美さん】 東京では、子ども3人を連れて出かけるだけで大仕事でした。双子をひとりで連れて歩くのもずっと緊張して、車も気軽に使えなかった。でも、いわきでは渋滞も人混みも少なくて、すぐ車に乗れる。今は、生活の満足度が全然違います。

【英行さん】 しかも、海も山も川も10分で行ける。温泉もあって、ちよっと車走らせるだけで非日常があるんです。東京では温泉旅行が趣味だったのに、今は2週間に1回市内の温泉に行っていて、わざわざ旅行に行かなくなりました。僕たちは仕事を辞めて来たけれど、来てみたら思っていた以上に楽しい未来が待っていました。

夫に故郷ができた

テレワークが後押しに

【隆司さん】 コロナ禍で完全テレワークになって、会社に毎日通わなくても仕事はできるんだ、と実感しました。そうなることで、東京で高い家賃を払って住み続ける理由も、前ほどなくなっただんです。コロナ禍以降は妻の仕事もテレワーク中心になり、二人とも会社が移住に対して寛容だったので、前から二人で話していた、いわきで暮らすことが一気に現実的になりました。

我が街にのめり込む

【隆司さん】 僕は東京生まれ東京育ちなので、ずっと「里帰り」を羨ましく思っていました。妻と結婚して初めてその感覚を知って、移住するなら、知らない土地じゃなくて、家族がいて、帰る場所がある町が



伊藤隆司さん、裕子さんご夫妻(2025年 移住)

いいと思ったんです。

【裕子さん】 私ほもともと地元が大好きで、旅行会社に行った頃も、いわきに人を連れてきたい気持ちが強かったんです。高校生の頃は、いわきには何もないと思っていたけれど、離れて外から見ると、って、人も温かいし、広いし、いろんな機会がある街なんだってわかりました。東京にいる時しかできないことをやり切って、悔いなく戻ろうと思って、5年くらい準備してきました。

【隆司さん】 今、毎週試合を見に行くらしいのめり込んでいるのが、いわきF.Cです。東京のサッカーチームはどこか遠かったけど、いわきF.Cは違う。湯本で暮らしていると、本当に「我が街のチーム」なんです。選手は普通に街にいるし、若い選手を見てると、頑張られて自然に気持ちが入る。そうやって暮らしているうちに、いわきのことを知れば知るほど好きになくなって、ちよっと恋愛みたいな感覚もあるんです。庭の木を剪定したり草を刈ったり、憧れていた晴耕雨読みたいな暮らしも少しずつ形になってきました。妻と一緒に庭いじりして、サッカーを見て、そういう時間が今はすごくしつくりきています。

まずは一度、いわきへ

【隆司さん】 最初から移住と考えると、ハードルは高いです。だから、まずは一度いわきに来てほしいですね。食べることも、街の空気も、人との距離感も、来てみるとわかることがあると思います。「ここなら暮らせるかも」と、きっと思えるはずですよ。

【裕子さん】 いわきは広いので、行く場所によって雰囲気も全然違います。何度か来てみると、自分に合う場所がきつと見つかると思います。

常磐ものづくりす

修行を経て地元へ

現在、家業のタコを扱う水産メーカー「かねいし商店」で働いています。高校生まではいわきで過ごし、大学から東京へ出て卒業後は豊洲市場で二年間修業しました。もともと家業は継ぐつもりでしたが、大学在学中に会長だった祖父が亡くなり、修業後はすぐに地元に戻ろうと思っていました。しかし、それとは裏腹に豊洲での生活にも居心地の良さを感じていて、正直あと三年、四年はいたかったです。名残惜しい気持ちもありましたが、二年間の約束と覚悟を決めて帰郷することにしました。

先代の鮮魚をもう一度

弊社は現在、「蛸屋のかねいし商店」として認知されていますが、始まりは曾祖父が



山野辺 正哉さん(2022年 移住)

いわきに戻る時は不安よりも期待の方が大きかったです。豊洲では上司の下で働いていましたが、いわきに戻れば全て自分の責任になる。でも、その自分分の力を試せるのも思いました。自分が戻った当時は、会社の組織的な営業活動ができていない状況でした。これでは限界があると感じ、学生時代の友人たちに「騙されたと思って、いわきに来ないか?」と声を掛けました。そこから営業部隊を組織して、全国の展示会にも積極的に参加し商品をアピールしていききました。同じ方向を向いた友達が一番強い。今はそう確信しています。

「常磐もの」は、豊洲市場でも一つのブランドとして認識されていて、肉厚で味が濃く、口に入れた時の旨さがしつかりあり、豊富な魚種を提供できる強みもあります。豊かな海があって、その恵みを日々の暮らしの中で食べることができ。いわきにはそういった豊かさがあると思います。移住と聞くと不安もありますが、行くと決めたなら後悔しないように進めた方がいい。まずはこの町の魚を食べてみてほしいですね。いわきの良さは、そこから伝わるものも大きいと思います。

何もない、じゃなかった

描きたい風景がすぐそばに

私は今、浜通りの風景を描くアーティストとして活動しています。東京にいた頃は、風景を写真に撮って持ち帰り、家で描くことが多かったんです。でも、いわきでは外に出れば5分で海がある。空の広さも、潮の匂いも、光の移ろいも、その場で感じながら描ける。海だけじゃなく、山もあって、開けた風景がすぐそばにある。この環境は、風景を描く私にとって本当に贅沢だなと思います。浜通りの絵を描いて、浜通りの人に見てもらえる。その距離の近さが、今の制作を支えてくれています。

やっと戻れたいわき

いずれいわきに戻りたい気持ちは、ずっとありました。東京は心が少し苦しくなる



金澤 裕子さん(2023年 移住)

というか、閉塞感があった。アーティスト活動にもっと本腰を入れたと思った時に、実家の引越して作品を引き取る話が出て、リモートで働ける会社にも出会えた。いろんなことが重なって、戻る流れができたんです。2019年頃から展示やワークショップで東京と「いわき」を行き来していたので、不安よりも「やっと戻れた」という気持ちの方が大きかったですね。

街と作品がつながる

いわきの魅力は、やっぱり人とのつながりです。震災を経験しているからこそ、地域を良くしていくとする前向きな人が多いと思います。その中で、仕事も暮らしも広がっていききました。ギャラリーごとに出会うお客さんも違うし、展示をきっかけに観光で来た方やサッカ―を見に来た方とつながることもあります。いわきF.Cのマスコットキャラクター「バーミー&ドリー」が大好きで描き始めたファンアートも、やがていわきF.Cとのコラボ作品につながっていききました。自分の作品が地域とまっすぐ結びついて、そのつながりがまた次の出会いや仕事につながっていく。その感覚は、いわきに戻ってきたからこそ得られたものだと思います。

高校生までの私は、いわきを「何もないただの田舎」だと思っていました。でも、年離れてみて、人の温かさや、地域を良くしようとする人たちの力も、海や山が近い自然の豊かさや、全部見え方が変わったんです。今は、本当にいろんな魅力が散りばめられている場所だと思っています。移住を考えている方には、条件だけで決めるのではなく、その土地に流れている空気や、人のエネルギーまで感じてもらえたら本当にうれしいです。



東京
駅

鉄道 (2時間25分)

→ JR常磐線特急ひたち → いわき駅

高速バス (3時間30分)

→ 首都高速 → 常磐自動車道 → いわき駅

車 (2時間45分)

→ 首都高速 → 常磐自動車道 → いわき中央IC

PR MOVIE

動画のご案内

何もないと思っていた、この街で。

この動画は、いわきへUターンした3人の“心の声”を通して、この街で暮らす魅力を描いた映像作品です。

仕事、子育て、家族とのつながり、日々の小さな幸せ。いわきを離れて初めて気づいた、この街ならではの心地よさや、暮らしの中で感じる変化が、それぞれの視点で語られています。

移住を考える方にとって、いわきでの暮らしをより具体的に思い描くきっかけになれば幸いです。ぜひご覧ください！

ご視聴は
Youtubeチャンネルへ
アクセス！

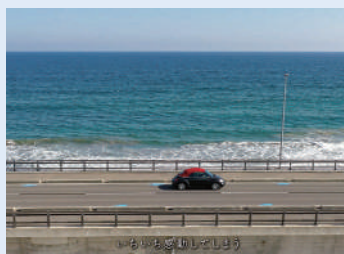


Youtubeチャンネル



#仕事と子育ての両立

#30代男性



#スローライフ

#自然

#20代女性



#家族

#コミュニティ

#30代女性

お問い合わせ

いわき市への移住に関するご相談は「いわき移住定住支援センター」まで

いわき移住定住支援センターは、いわき市と福島県、いわき商工会議所が中心となり、市内の関係機関や地域団体等と連携して設立された、いわきの移住に関する総合窓口です。

いわきへの移住をお考えの方はお気軽にお問い合わせください。

相談会の
開催については、公式WEBサイトで
随時お知らせいたします。

いわき移住定住支援センター

TEL: 0246-22-7551

MAIL: info@iwaki-iju.com



◁ 公式WEBサイトへは
QRコードからアクセスしてください

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本21 いわき市役所いわきとつながる課内
[受付時間] 8:30~17:15 (土日祝、年末年始を除く)